

第2回 JPNIC Open Policy Meeting
～まとめ～

Jul-9, 2002

江面 祥行
JPNIC IPアドレス検討委員長
(株)インターネット総合研究所

レポート (1/2)

1. JPNIC Update

- 前回のJPNIC-OPMの成果報告、新レジストリシステムの現状報告、JPNICの活動報告があった
 - Spam対策に関するDB更新についてコメントもあり IRとしては動き始めたところ

2. 申請手続き/審議に関する情報提供について

- 各種申請に関する情報提供の課題と改善策について報告があった

レポート (2/2)

3. JPNIC IRR = JPIRR

- JPNIC IRR企画策定チームより、JPIRRサービスの目的概要、スケジュールなどについて報告があった。
 - Filtering toolの使い方などのドキュメントがあるとうれしい

4. CATV/xDSLガイドラインの運用について

- CATV/xDSLガイドラインの概要と運用状況、エマージェンシーアロケーションへのJPNICの対応などについて報告があった。
 - 初回割り当て基準は、楽にスタートアップさせる仕組み
 - 新しいサービスが出てきた時に、直ぐガイドラインを策定できる仕組みとして有効

IR DBによるAS番号に関する情報の公開形態について

- 提案のポイント
 - 会社組織としては、公開したくない情報が含まれる
 - 資源割当DBと運用管理DBは分ける
 - “資源割当DB”と“運用管理DB”に分けて、各々に必要な情報のみを登録し公開する
- コメント
 - 審議情報にしてもいいけど、公開する必要はないだろう
 - 今後、IRRにもレジストリが関与して行く可能性など
 - Optionalな情報として、自分の意志で登録・公開していくのがよい
- コンセンサス
 - IP-USERS ML上で、継続議論が必要
 - 必要に応じて、APNIC OPMへ提案など

RFC2050の現状と問題点

- 内容
 - 日本として2050-WGにどう貢献できるのか？
 - RFC2050の誕生に至るまで
 - 2050-WGの紹介
 - ICANN ASOドキュメント? or RIRドキュメント?
 - RFC2050は必要なのか？
- コメント
 - 地域性の問題も分離して考えなければならない
 - 同じポリシーあれば公平かと言われると、そうでもない
 - 3 RIRのポリシーをコーディネートしていった方が健全
 - RFC2050の存続の意味を明確にする必要がある
 - 今後、関心を持って見守ってください

IPv6 Policy 経過報告 (1/2)

- 内容
 - 新ポリシー策定の経緯
 - 議論が尽くされた訳ではない、まだ改良していくべきもの
 - 新ポリシー施行にあたってのJPNICにおける変更点の紹介
 - ISPから見た質問と課題
 - 申請可能な組織は？ 逆引きは必要？、Q&A
 - レジストリの立場としては
 - 運用ガイドラインの提供が必要、申請に関する情報の充実

IPv6 Policy 経過報告 (2/2)

- コメント
 - エンドサイトがマルチホームしていた場合はどうなる？
 - 新ポリシーでは触れていないし、IETFでも技術的にも解決されていない
 - まだまだ、未熟なポリシーなので、今後も良くしていかなければならない
 - 2年後の計画 ガイドラインはIPv4よりも厳しくならないように
 - APNICレベルで解決を求めたいもの
 - 割り当て対象・特殊ケース
 - iDCに対するガイドラインが必要？
 - トランジットISPをこれからやる人
 - » 必要性についてIPアドレス検討委員会で検討
 - 逆引き
 - ポリシーとしては必要ないのでは？ 委譲構造なのでLIRに義務化しないとしたくてもできなくなってしまう
 - IPアドレス検討委員会で検討

MLでの議論は

- ip-users@nic.ad.jp

- 参加方法は

To: majordomo@nic.ad.jp

本文: subscribe ip-users

詳細は www.nic.ad.jp をご覧下さい

APNIC OPM

場所:

北九州国際会議場(北九州、小倉)

開催期間:

2002年9月3日 ~ 9月6日

感謝

プレゼンター、パネリストの皆さん

本日参加してくれた皆さん

JPNIC IP事業部の皆さん

JPNIC OPM企画策定チームの皆さん

IPアドレス検討委員会各位

最後に

皆さん1日お疲れさまでした！！